

リサイクルを通じて、障がい者の社会参加を促進へ

三重県と連携し、県民参加型のアフターメダルPJをスタート

～ 三重県の鈴木知事が記者会見でプロジェクトの開始を発表 ～

リネットジャパングループ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：黒田 武志）の子会社のリネットジャパン株式会社は、三重県と連携し、三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた小型家電リサイクルの取組を開始します。



この取組は、環境省が推進する「アフターメダルプロジェクト」の一環として、県民から回収した不要なパソコン・携帯電話からリサイクルした「金」を使用し、三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）の金メダルを製作する県民参加型のプログラムです。集めたパソコン・携帯電話などの分解作業は、県内の福祉事業所等で行います。環境（リサイクル）と福祉の連携により、障がいがある方の社会参加の促進に繋がります。今後、三重県と連携し、県民や県内の事業所に広く協力の呼びかけを行い、回収目標の達成を目指します。なお、リサイクル金属を使用してメダルを作成する取組は、全国障害者スポーツ大会としては初めてとなります。

リネットジャパンと三重県は、本取組を通じ、県民のリサイクル意識の向上や障がいがある方の社会参加の促進を積極的に推進して参ります。

■ 全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した大会として、国民体育大会終了後に、同じ開催地で行われている国内最大の障害者スポーツの祭典です。2021年に三重県で第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」が開催されます。

大会の目的は、パラリンピックなどの競技スポーツとは異なり、障がいのある人々の社会参加の推進や、国民の障がいのある方々に対する理解を深めることにあります。

■ 取組概要

三重県は、県民と県内の事業所に対し、不要なパソコン・携帯電話の回収を呼びかけます。また、県内の市役所・役場・公民館など100箇所以上に携帯電話専用の回収ボックスを設置し、リサイクルに協力しやすい環境の整備を行います。

なお、パソコンの宅配便回収・携帯電話のボックス回収、福祉事業所等での解体作業、再資源化処理、精錬後の原材料提供は、リネットジャパンが実施します。

- 【回収方法】 ①携帯電話：専用の回収ボックスによる回収
②パソコン：リネットジャパンが提供する宅配便回収サービスによる回収
- 【回収期間】 令和元年12月15日（日）から令和2年11月頃（予定）
※回収状況やメダル製造日程等によって変更する可能性があります。
- 【専用HP】 <https://tokowaka.pref.mie.lg.jp/taikai/0000000754.html>

■ 会社概要

- 【会社名】 リネットジャパングループ株式会社（東証マザーズ 証券コード：3556）
- 【所在地】 名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート26階
- 【設立】 2000年7月27日
- 【代表者名】 代表取締役社長 黒田武志
- 【資本金】 13億1,597万円（2019年9月30日現在）
- 【従業員数】 488名（パート・アルバイト含む／2019年9月30日現在）
- 【事業内容】 ネットリサイクル事業「環境省・経済産業省の認定事業者」としてパソコン・小型家電回収／ネットリユース事業「本、ゲームソフト、ブランド品」の中古品販売／カンボジア事業 車両販売、マイクロファイナンス、リース、人材送出し
- 【URL】 <https://corp.renet.jp/>

※パソコンの宅配便回収サービスは、リネットジャパングループの100%子会社であるリネットジャパン株式会社が提供します。

- 本件に関する報道関係者様お問い合わせ先 -
リネットジャパングループ株式会社担当：高田
TEL：052-784-6207 / FAX：052-784-6209 / Mail：press@renet.jp